

管理所レビュー VOL.08

(H30.7.24 水源林管理所)

7月7日(土)の第8回のボランティア活動日は、前日からの豪雨により、活動日の未明に道志村内の国道が通行止めとなりましたが、朝方には雨も止み、通行止めも解除となったため、予定どおり間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

日本各地で、連日猛暑が続いていますが、道志村でも今までにないほどの暑さが続いています。引き続き万全の熱中症対策をして、ご参加ください。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 51名のご参加、ありがとうございます。



厚い雲が立ち込めています。



雨対策のテントも準備OK!



足の屈伸運動もしっかりと!

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



大径木のヒノキの受け口作り。



複数人での確認が大事です。



ツルの機能が十分に働いています。



傾斜地では、足元の確保を。



傾斜地では移動も注意!



滑車辺りが、目標地点。



1班内で1班と7班が二班同時作業も、互いに距離をとっての安全作業。



間伐が順調に進んだ綺麗な林。



もう少し、間伐が必要な林。

3 枝払いも安全に。

枝払いも道志水源林ボランティアの会の皆さんにとっては、すでに慣れた作業となっていますが、安全のため、次のことに注意してください。

〔テンションのかかった枝の切断〕

テンションがかかっている枝の切断は、切断の途中で裂けて自分の方に跳ね返る場合があります、危険です。

〔太い枝の切断〕

太い枝の切断は、いきなり枝の根元を切ると、重さや枝の向きによっては片手でコントロールしきれず、ノコギリを挟まれて破損したり、同じ作業をしている近くの人に当たったりする場合があります、危険です。

※ 枝払いを行う前には、枝の太さや曲がり具合などを観察し、状況によっては枝の途中を一旦切るなどして、安全に作業してください。



テンションのかかった枝の切断に注意！



近隣者に注意！



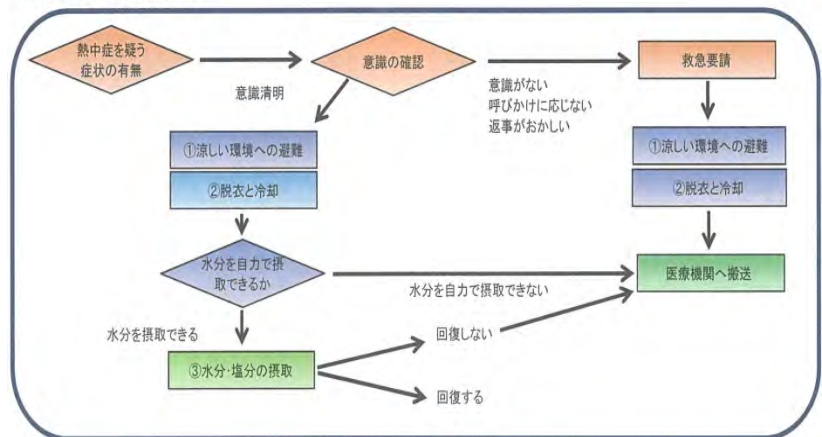
安全な枝払いのお手本。
(「伐木造材業者必携」より一部抜粋)

4 熱中症の応急処置。

熱中症は、高温多湿な環境の中にいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整機能がうまく働かなくなり、体内に熱がたまることによって、めまいや吐き気、けいれんなどを起こす病気です。

まずは、予防が大切ですが、万が一に発生した場合の処置を確認しておいてください。

熱中症発生時の応急処置



(「山梨労働局労働災害防止のために」より一部抜粋)

5 移動のルート上も注意して。

管理所から活動拠点のストックヤードまでの道沿いに、蜂の巣が2つあり、職員が除去しました。活動地だけでなく、移動ルートでの異変等にも気が付いた場合は、職員まで連絡をお願いします。



移動ルート上の軒下に。



営巣したセグロアシナガバチ。

※ 7月27日(金)は、晴れのち曇り、最高気温30度、降水確率30%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは7月27日、気をつけてお越しください。